

教員（看護人間学Ⅰ）の公募について

本学では下記のとおり教員を募集いたします。

記

1 職名及び人員 教授、准教授又は講師 1名

2 担当領域 看護人間学Ⅰ

3 採用予定日 令和7年4月1日

4 仕事内容（業務内容、担当科目等）

- （1）学部の看護人間学Ⅰの関連科目（代謝学、解剖・生理他）の講義、演習、実習等
- （2）大学院（教授：博士前期課程及び博士後期課程）（准教授：博士前期課程）の基礎看護学分野（感染看護・健康増進看護学、健康科学）に関する科目
- （3）学内委員会などの学内管理運営用務

5 応募資格

原則として、以下の要件をすべて満たすこと

【教授】

- （1）令和7年4月1日に着任できること
- （2）学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しないこと
- （3）博士の学位を有すること
- （4）大学において3年以上の准教授の経歴を有すること
- （5）看護師等（看護師、保健師、助産師）として5年以上の実務経験を有することが望ましいが、これを満たさない場合には、看護師等として3年以上の実務経験を有すること
- （6）大学における各種委員会及び学術集会等の活動において、顕著な管理運営能力が認められること
- （7）担当する領域の指導実績が博士後期課程の研究指導教員として相応しいと認められること
- （8）研究上の業績を15編以上有し、これらのうちファーストオーサーの論文が5編以上あり、かつ、直近5年において論文が5編以上あること

【准教授】

- （1）令和7年4月1日に着任できること
- （2）学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しないこと
- （3）博士若しくは修士の学位を有すること
- （4）大学において3年以上の講師又は助教の経歴を有すること
- （5）看護師等として5年以上の実務経験を有することが望ましいが、これを満たさない場合には、看護師等として3年以上の実務経験を有すること
- （6）大学における各種委員会及び学術集会等の活動において、管理運営能力が認められること
- （7）担当する領域の指導実績が博士前期課程の研究指導教員として相応しいと認められること
- （8）研究上の業績を10編以上有し、これらのうちファーストオーサーの論文が5編以上あり、かつ、直近5年において論文が3編以上あること

【講師】

- (1) 令和7年4月1日に着任できること
- (2) 学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しないこと
- (3) 博士若しくは修士の学位を有すること
- (4) 大学において3年以上の助教の経歴を有すること
- (5) 看護師等として5年以上の実務経験を有することが望ましいが、これを満たさない場合には、看護師等として3年以上の実務経験を有すること
- (6) 研究上の業績を3編以上有し、これらのうちファーストオーサーの論文が3編以上あること

6 待遇

- (1) 採用職位：教授、准教授又は講師
- (2) 給与：公立大学法人の就業規則及び給与規程に基づく給料及び手当を支給します。
- (3) 加入保険等：公立学校共済組合に加入します。
- (4) 教育研究費：職位に応じて研究費を支給します。
- (5) 勤務形態：常勤

休日：土曜、日曜、祝日、年末年始

【以下、①又は②のうちいずれかを選択】

- ① 専門業務型裁量労働制
(週38時間45分相当、1日7時間45分相当)
- ② 勤務時間 8時30分～17時15分
(休憩1時間を含む。授業、実習により勤務時間の変更あり)

7 募集期間

令和6年6月1日から令和6年7月31日まで（必着）

8 提出書類

- (1) 履歴書（別紙様式1）
- (2) 教育研究業績書（別紙様式2）
- (3) 著書又は論文がある場合は、主なもの3点（コピー可）
- (4) 最終学歴証明書
- (5) 本人について参考意見を伺える方の氏名、所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）
(様式自由)

9 提出先

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1

宮崎県立看護大学学長 宛 （担当：総務課 経営企画担当）

TEL : 0985-59-7700 E-mail : info@mpu.ac.jp

10 その他

- (1) 応募書類は簡易書留とし、封筒の表に「教員（看護人間学Ⅰ・教授、准教授又は講師）応募書類 在中」と朱書きしてください。
- (2) 応募の書類は返却しませんので御了承ください。応募書類により取得する個人情報、選考及び採用の手続きに利用するものであり、この目的以外で利用及び提供することはありません。
- (3) 書類選考の上、必要に応じて面接を行います。面接のための旅費は応募者負担となります。選考結果については、御本人あてに通知します。